Service Ace
サービス エース

三十五球目・ごみ減量化はアドバンテージ

半田市長 榊原純夫

◉新たなごみ処理施設「知多南部広域環境センター」について

本市のごみ処理は、現在、半田市クリーンセンターで行っていますが、平成34年（2022年）4月からは、武豊町に新たに建設される「知多南部広域環境センター」で、半田市・常滑市・南知多町・美浜町・武豊町から排出されるごみを、一括処理することになっています。

この背景には、リサイクルや、ダイオキシン対策等の高度な環境保全対策、適正なごみ処理を推進するため、ごみ処理の広域化を国が打ち出したことにあります。

それを受けた愛知県が「ごみ焼却処理広域化計画」を策定し、県内を13ブロックに区割りしました。

その1つが、知多南部地域（前述の2市3町）です。

ごみ処理施設の広域化は、スケールメリットを活かし、施設建設及び運営コストの縮減も可能となることから、平成22年度に知多南部広域環境組合を設置し、ごみ焼却施設のあり方について検討を重ねてまいりました。

先日、公設民営方式によるごみ処理施設整備及び20年間の管理運営事業者が決定し、いよいよ本格稼働に向け事業が動きだします。

◉なぜ、ごみを減らす必要があるのか

供用開始後の施設の運営費は、構成市町の家庭系ごみ排出量（重さ）に応じて負担することとなっています。

ところが、本市における1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、重量の少ない方から数えて県内54市町村中43位となっており、他市町に比べ多い状況です。

そうです、市民の皆様一人ひとりが、ごみの減量化に取り組んでいただくことで、経費が削減できるということなのです。

反面、減量化が進まないと、他市町に比べて大きな負担をしなければならなくなります。

普段の生活の中で、我が家でも実行しているのが、生ごみの水切りです。

生ごみの約80％は水分です。

水切りをすることで、重量の約10％を減らすことができます。

その他にも、「買い物に行ったら、過剰包装を断る」、「食べ残しを減らす」（私の場合食べ過ぎに注意）ことにも、心がけています。

リサイクルを推進し、そもそもごみにしないことも重要です。

すでに実践いただいている多くの市民の皆様もおられます。

是非ともご理解・ご協力をお願いします。

◉ごみの有料化について

本市では、これまでにリデュース（ごみを出さないようにする）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再び利用する）の3Rの推進とともに、プラスチック容器包装等の資源の分別収集、小型家電の回収など様々なごみ減量施策に取組んでいますが、更なる取組みとして、ごみの有料化が必要ではないかと考えています。

有料化については、全国約6割の自治体で実施されており、実施した自治体では減量が進んだとの報告がなされています。

近隣市町の常滑市、知多市、東海市ではすでに有料化が実施されています。

有料化の方法については、今後、市民の皆様と計画段階から意見交換を行い、検討してまいります。

新たなごみ処理施設「知多南部広域環境センター」の建設を機に、「もったいない」の気持ちを忘れることなく、市民の皆様と共に、更なるごみ減量を進め、子どもたちの未来のためにも「循環型社会」の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

▲「知多南部広域環境センター」完成イメージ